

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

『多摩地域の主婦・シニア・障害者の智と力・SOHO 'ちゅうママ'プロジェクト』

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

今の不況の時代で社会的立場の弱い人ほどその影響を受けています。そのため、外ではたらくことの出来ない人たちを支援する「在宅ワークプロジェクト」です。立場、障害を超え、人は『働くこと』にいきがいを感じています。そして働くことを通じて家庭・地域社会を活性化することを目的としています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 月1回の在宅ワーカー登録会の開催(府中市内の公共施設)
- 3か月に1回の研修会の開催(pcの研修、ホームページ作成)年4回の開催
- 受託した次の業務のワーカーへの依頼
 - ・データ入力(名刺・アンケートなど)業務・特定保健指導業務(管理栄養士)

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

この1年間で12回の登録会への参加が80名から120名に増加しました。登録会参加者の中から自発的に添付のホームページ作成のチラシを地域に配る活動にも自発的に参加してくれた人10名に及び、みんなでこの事業を成功させようとした機運が生まれたことは最大の成果と考えています。

今後、このプロジェクトを継続し、大きくするために現在、府中市へ市民提案型支援事業補助金(22年度)の申請を行いました。また、皆で作ろう「府中まちコムホームページ」とワーカーの技術者勉強会を6月からスタートいたします。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

社会的立場が弱いとされている主婦、シニア、障害者が1人では出来なくとも、力をあわせ、それぞれの経験能力を発揮できる場を創ること、これが今回のプロジェクトの目的でした。

どんな生活状況のなかでも多くの人が力をあわせればきっと素晴らしい結果を残せること、ミッションを共有すること、そして、このミッションを発信することの大切さ、これらをテーマに活動した結果、それにより周りの人たちからの多くの協力を得ることが出来ました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし



研修会 09年09月20日(土) 府中NPO・ボランティアセンター